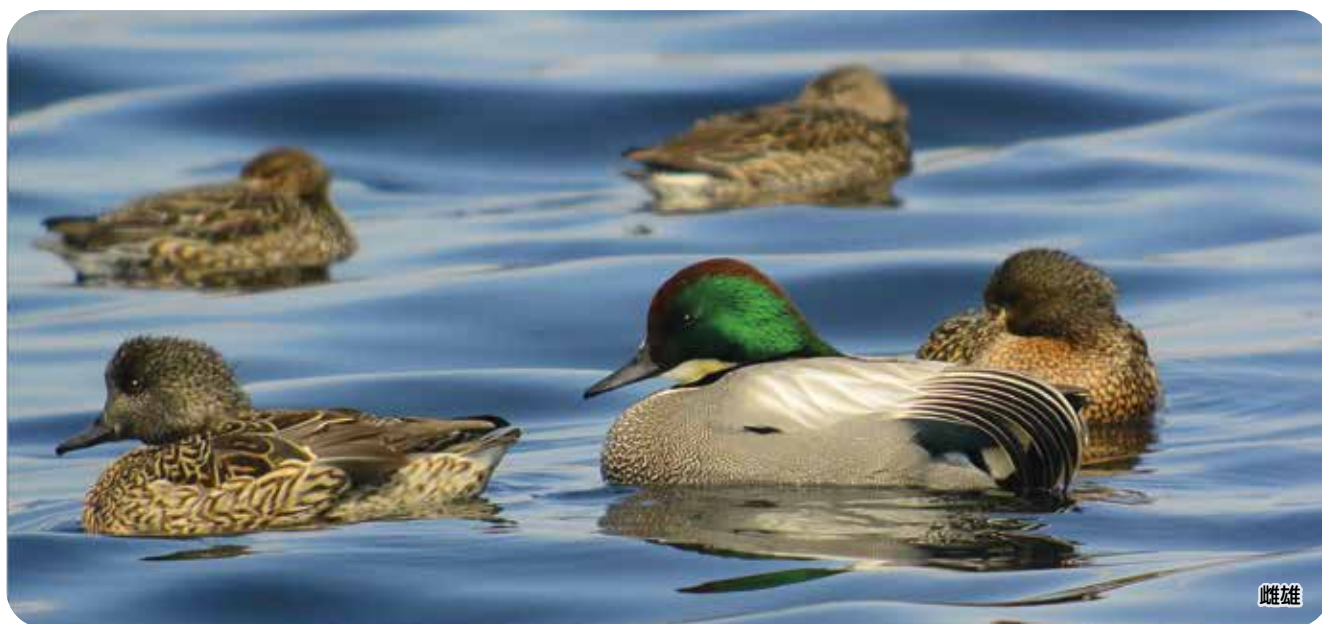


財団だより

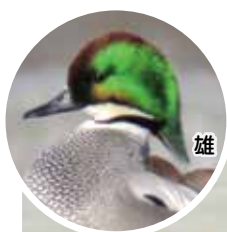
第164号

2020.12

# 多摩川



雌雄



雄

## ヨシガモ

写真・文 大野 章(川崎市多摩区在住)



雄 3月

多摩川には、冬鳥のカモ類が多種、多数やって来る。10月中旬頃から来始め、日に日に水面にその数を増していく。冬の間様々な生態を見せて、翌春には繁殖地へと移動する。

渡来当初は、どの種類も雌雄の別があまり判然としない地味な姿である。

冬をここ多摩川で過ごす間に、雄はそれぞれ特有の色合いや姿に変化して美しさを増していく。中でもヨシガモ雄の美しさは際立っている。

緑色に光るナポレオン帽子型の頭部と、鎌形に長く伸びた数条の白い羽が見どころ。水面を静かに進む姿は優美である。その羽の特徴ゆえ、羽繕いや羽ばたきも見栄えがして、見る人を魅了する。

名の由来は諸説の中でも「姿良し」からつけられたとの説が有力であり、説得力があると思える。



雄 10月

### 目次

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| ■ 巻頭言 …………… 2    | ■ 多摩川緊急治水対策プロジェクト …………… 7 |
| ■ 多摩川散歩 …………… 5  | ■ インフォメ/多摩川 …………… 8       |
| ■ 多摩川に学ぶ …………… 6 | ■ 事務局より …………… 15          |

## 巻頭言



北里大学海洋生命科学部 名誉教授  
第12回東急財団 社会貢献環境学術賞受賞

井田 齊

## 多摩川の魚類

### 多摩川の魚類

1954年頃から、我が国はいわゆる高度経済成長時代に入り、各地で様々な形の環境破壊が進みました。水俣病、四日市ぜんそくなどがその結果としてあります。関東地方でも例外でなく多摩川では水質汚染が進み、中・下流域から急激に魚などの水生動物の姿は消えて行きました。1970年頃の水質が最悪でその年の暮れからは公害対策がなされ、水質の改善が漸く進みました(図1参照)。

一時期、中・下流域から魚類は全く姿を消しましたが1970年代後半から多摩川には次第に魚種が戻り橋本浩氏は2017年に多摩川全域から35種の出現を報告しています。この出現種の中にはコクチバス、ブルーギル、ニジマスなどの国外から持ち込まれたもの、オヤニラミ、ムギツク、カワムツ、オイカワ、タカハヤ、タモロコ、スゴモロコなどフォッサマグナ以西の本邦から移植されたものなどが含まれます。

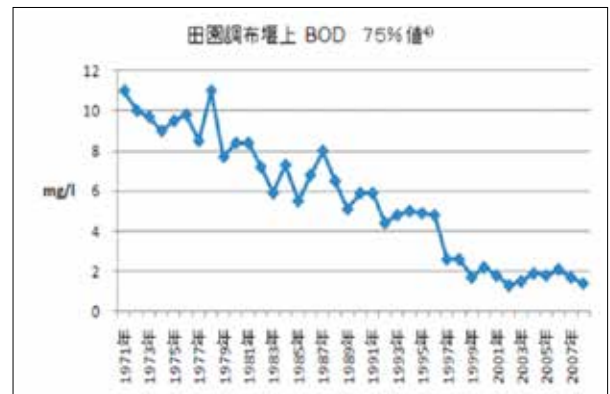


図1 多摩川の水質経年変化(データ:都環境局)  
(引用:和波一夫平成22年度公開研究発表会 要旨集)

「多摩川の魚のルーツは?」という疑問を持ち現在の多摩川の魚たちはどのように復活したのかを組織的に調べることにしました。幸いにも多摩川の魚類に経験の豊かな奥山文弥氏を中心に、北里大学海洋生命科学部の学生さんを実働部隊として調査部隊を作ることができ、とうきゅう環境財団(現:東急財団)のご支援を受けることができました。

2017年から2020年までに得られた魚類は写真に示した10種です。(写真は右ページに掲載)

これは、中・下流域はウグイとマルタを除くと、本格的な調査を実施していないことによります。

コイ科、ハゼ科など20種ほどの棲息が予想されますが2021年以降に調査を予定しております。

降河性のウナギ、遡河性のハゼ類・アユなどは移植という人為的要因がなくとも周辺の河川から補充が期待できます。漁業権の維持には増殖義務が課せられており、種苗の放流や、産卵場の整備などが実施されてきました。特にアユの種苗としては琵琶湖産アユが多用されてきたため関西産のタモロコなどの定着が多摩川で認められています。ヤマメもその例外ではなく、これまでに多摩川の上流部に種苗も頻繁に放流されています。そこで私たちは、現在 東急財団の助成を受けている吉永龍起氏のグループと共に多摩川に棲息する魚類の自然度を探るべく、得られた魚類のルーツ探しを開始いたしました。形態的には斑紋などでも推定できますが正確ではなく、遺伝子レベルでの調査で棲息魚のルーツをかなり正確に求められます。来年度からはサケ科のみならず、出現種の多いコイ科などのルーツ探しに努力を注ぐ予定です。

近年、下流域では春期にウグイとマルタが産卵する際に集団をつくります。それを狙って少なからぬ釣りが楽しんでいます。北里大学海洋生命科学部の調査班はその2種のルーツ探しを2015年から始めました。多摩川水系に生息するウグイ属魚類のミトコンドリアDNAの調節領域（多くの動植物で調べられているので比較が容易にできます）を解析したところ、ウグイは多摩水系の全域に生息し、在来個体群に加えて、魚野川および琵琶湖に由来する移入個体群がそれぞれ下流域と源流域に棲息することが判明しました。一方、下流域のみに生息するマルタは全て移入に由来すると判定できました。また、ウグイとマルタの交雑個体の出現も認められました。ウグイとマルタが狭い瀬という産卵場に集中する結果と推定されます。

このように、多摩水系の中・下流域からは現在、30種以上の棲息が確認されています。多摩川という生態系から高度経済成長期の水質悪化にともない魚などの水棲動物は消え、空き室同然になりましたが、水質環境が改善するにつれ復活が進んでいます。多摩川という器の健全化に期待したいものです。今後、他の魚種についてもルーツ探しを続けて行きます。

## 自然を学び、楽しむ

現在、多摩川流域の自然の利用形態は釣りが圧倒的に多いと思われ、次いで登山、キャンプなどがあります。写真に示すように奥多摩地方には、「ここも東京?」と思われる風景が至る処に見られます。

峰谷川周辺の玉石を積んだ林道や多摩川の支流の景観はトレッキングのコースとしては十分に見応えのある素材と思われれます。また、ラフティングを楽しむ方もいました。奥多摩地方にはこのようなアウトドア生活を楽しむ景観やスポーツの場が少なからずあると魚類調査をしながら感じました。



峰谷川 東京とは思われません  
2019年9月25日

## 多摩川で採集された魚類



### ニジマス

全長 237mm  
体長 226mm  
年齢 3歳  
2020年9月17日  
川井橋付近



### ヤマメ

全長 210mm  
体長 184mm  
2019年9月29日  
日原川産



### ニッコウイワナ

全長 192mm  
体長 165mm  
2019年7月27日  
日原川



### ニゴイ

全長 570mm  
体長 509mm  
年齢 不明  
2017年3月16日  
宿河原付近



### マルタ (上) と ウグイ (下)

2018年4月  
宿河原付近



### アブラハヤ

全長 110mm  
体長 92mm  
2020年9月17日  
川井橋付近



### シマドジョウ sp

全長 65mm  
体長 54mm  
2020年9月10日  
釜の淵公園付近



### カジカ

全長 85mm  
体長 69mm  
2020年9月17日  
川井橋付近



### オオヨシノボリ

全長 69mm  
体長 55mm  
2020年9月17日  
川井橋付近



峰谷川周辺の玉石を積んだ林道



ラフティングを楽しむ  
2020年9月10日 釜の淵公園付近

これらの素材を有機的に結びつけることができれば多摩川流域の楽しみ方はより多様になるのではないのでしょうか。

奥山文弥氏は多摩川下流域で観察されるウグイとマルタの産卵風景は、情操教育として十分な素材たり得る、と考えていらっしゃいます。サケ類の産卵風景は母川に帰り、産卵後に斃死するということが人々に感動を与えます。東京という大都市の中で30cmを超える体をぶつけ合い産卵するウグイやマルタもサケ類に劣らず、次世代を残すという感動的な情景であると、私も思っております。



浅瀬で水しぶきを上げ産卵するウグイの群れ  
2016年3月



調査のため釣獲したマルタ（上）とウグイ（下）  
2018年4月

東京に生まれながら、多摩川の自然を十分に学ばなかった私ですが、身近な場にも感動的なものが大変多く、次世代に継承すべく努力をしたいと思う昨今です。また、このような機会を与えて下さった東急財団の皆様へ篤く御礼申し上げます。



川底の礫に産み付けられたウグイの受精卵



泳ぎだしたウグイの仔魚 2016年4月

**引用文献** 和波 一夫 . 2017. 平成 22 年度公開研究発表会 要旨集  
橋本浩 . 2017. 多摩川の魚たちの現状は？～魚類の生息状況から見た多摩川環境～ 島しょ農林水産総合センター  
Shirotori F, Okuyama F, Ida H, Aoyama J, Yoshinaga T. 2020. [Native and introduced Far Eastern daces genus Tribolodon in the Tama River system, Japan, inferred from the mitochondrial DNA analysis](#) Fish. Sci. 86 473 – 485

## 多摩川散歩

### 多摩川源流大学から



多摩川源流大学事務局  
NPO法人多摩源流こすげ事務局  
東京農業大学非常勤講師

### 石坂真悟

今年も残すところ一か月となりましたが皆様、いかがおすごしでしょうか？

当法人でもコロナ感染症により多くのイベントや体験が中止となりましたが、通常の活動を振返ったり、今まで繁忙期で手が回らなかった事業に手を付けられたりと、少し視点を変えて活動を行った一年となりました。

来年は、本年の経験を活かし、開催方法を検討し、多くの方に源流体験や小菅村の自然を満喫できるように準備をしていきたいと思えます。

#### 小菅村の石仏調査報告

小菅村役場では、村の歴史や文化を後世に残すべく「小菅村郷土誌」の発行を目指し、編纂員会を設置しました。その一環として、この度村内各地に存在している「石仏・石碑」の調査・解説が行われました。

その報告書は小菅村 HP の教育委員会のページに全文が掲載されておりますので、ぜひご興味ある方はご覧ください。



1771年建立の庚申塔（白沢地区）

#### 軽トラに乗る可搬式避難所

小菅村では、新たな生活スタイルの提案と木材の有効活用を図るために2016年から“タイニーハウスプロジェクト”を開始しています。村の山から伐り出された木材を活用し、新たな居住空間を謳うミニマムな住居“タイニーハウス”をヒントに、with コロナ時代の災害時に備え、「少しでも早く、安心して過ごせ

る」“ひと時の住まい（ルースターハウス）”を提案しました。

大人3名で、1時間ほどで建てられ、室内は4メートル四方のスペースが確保されています。避難所以外でも活用の方法がありそうです。



可搬式避難所



可搬式避難所室内

#### ヒノキの間伐材でナメコ栽培

間伐材の有効活用として、今まではほぼ薪として利用していましたが、とある雑誌でヒノキの丸太でナメコ栽培ができることを知り、早速スタッフで試験栽培してみました。

3月に菌付け（キノコの菌）を行い、8月に本おせ（土の中に入れる）を行ったら、見事10月中旬より、ニョキニョキとナメコが顔を出してくれました（^^）/



ヒノキ間伐材から生えるナメコ

## 多摩川に学ぶ

### 冬の多摩川で宝探し



NPO 法人砧・多摩川あそび村

理事長 上原 幸子

一時期の何も活動できない状況から変化し始め、具体的に何に気をつけたらいいのかを、皆が少しずつ考えられるようになってきました。観察会は密にならないよう人数を絞り、小グループでの活動を原則にするなど、野外であってもさまざまに工夫しています。そんな中、残念ながらまだ当面できそうもないのが食を伴うイベントです。昨年の台風で水をかぶった後も衛生上の観点から控えて来ましたが、with コロナでまたしばらくむずかしくなりました。

例年、多摩川ならではの野外料理を季節毎に楽しんできました。中でも多摩川でしか体験できないのが、その場で採取して食べるということ。人の手を介さず野生で育った食べられる植物との出会いは、誰でもが興味をそそられます。今回は、発見する楽しさもある多摩川の食材探しをご紹介します。

#### 多摩川の自然は食材の宝庫

春先の新芽の時期に、イタドリ、セイタカアワダチソウ、ハルジオン、クズ、カラスノエンドウ、ヨモギなどで作る野草の天ぷら。毎年、春の多摩川の定番ですが、冬に食べられる食材は案外知られていません。寒い季節に美味しいのは、ハマダイコンやキクイモなどの根菜類です。それらを採取して、お正月明けに食べるのが七草粥ならぬ「多摩川粥」です。ハマダイコンは、春に白や薄紫の花が群生していた辺りを思い出してみると場所の見当がつき、葉も普通の大根と似ているので、意外と見つけやすいかと思えます。それに対し、キクイモは花が枯れると見分けが付きづらいため、秋にオレンジ色の花を見つけたら、茎に目印を付けておくといいかもしれません。クコなど



目視しやすい木の実に 滅多にない大物を掘り当てました！



多摩川粥は、キクイモの味噌漬けと干したクコの実を添えて



キクイモの花



ハマダイコンの花

に対し、足元にある食材を掘り当てるのは、まるで宝探しといったところでしょうか。

食感は、ハマダイコンはゴボウに、キクイモは生姜に少し似ています。味は野生的という表現が似つかわしく、品質改良された畑の野菜とはひと味違ったたくましさがあります。私のおすすめレシピは、ハマダイコンのキンピラです。ゴボウと同様にささがきにして、ゴマ油で煮炒めます。キクイモは味噌漬けで。毎年作ってくださる方のおかげで、歯応えを楽しませていただいています。

#### 楽しみ方はアイデア次第

昨年の「川の日ワークショップ関東大会」で、「とどろき水辺の楽校」の皆さんが「ハマダイコンプロジェクト」の発表をされていました。花びらのグミ、大根菜茶など食の考案やフラワー・アレンジメントや草木染めなど、子どもといっしょに楽しめるアイデアが満載でした。



ハマダイコンの花のグミ



群生するハマダイコンの前での解説  
(写真提供：とどろき水辺の楽校)

これからは、シャベルと袋を片手に多摩川に行くスタイルを習慣づけては如何でしょうか。野菜が高い時には救世主にもなり得ますし、最近は SNS への投稿など新しい楽しみ方をされる方もいます。都会と隣接する自然河川・多摩川の宝探しを、是非お子さんといっしょに楽しんでみてください。



「多摩川緊急治水対策プロジェクト」の一環として、  
自治体職員を対象とした  
排水ポンプ車等操作講習を行いました。

国土交通省では、排水ポンプ車等の災害対策用機械を保有しており、昨年10月に発生した令和元年東日本台風では、全国の排水ポンプ車が各地で展開し活躍しました。多摩川流域でも各所で浸水被害が発生し、排水ポンプ車による排水作業を行いました。

令和元年東日本台風による被害を受け、今後の治水対策の方向性として関係機関が連携した、「①被害の軽減に向けた治水対策の推進」「②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進」「③減災に向けたさらなる取組の推進」を3本柱とする『多摩川緊急治水対策プロジェクト』を令和2年1月にとりまとめ、「社会経済被害の最小化」を目指すこととなりました。

その中の一つとして、排水ポンプ車の派遣を要請する自治体職員の方にも排水ポンプ車の特性を習得してもらい、より一層の円滑且つ迅速な排水作業が関係機関と連携して行えるよう、「自治体職員を対象とした排水ポンプ車等操作講習」を令和2年9月29日、30日に実施し、14団体83名の方に受講していただきました。

排水ポンプ車の確実な排水作業のためには、実際の機器の大きさや重さを熟知している必要があるため、講習では設置から排水までの操作を実践していただきました。



訓練の様子



ポンプ組立



コロナ対策



ポンプ運転



排水の様子

今後も引き続き、このような講習を定期的に行います。

また、地方自治体からの依頼によっても開催して参ります。

『多摩川緊急治水対策プロジェクト』：[https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index134.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index134.html)

**京浜河川事務所ではFacebookを公開しています！**

京浜河川事務所の取り組みや所管する多摩川、鶴見川、相模川、西湘海岸、  
沖ノ鳥島に関する情報を、みなさんに分かりやすく情報発信していきます

<https://www.facebook.com/keihin.river.mlit/>



## インフォメ／多摩川

多摩川流域他の各種団体等の12月から2021年3月に開催される環境活動に関する主な行事・イベント情報を紹介いたします。

自然災害や感染症拡大防止、その他やむをえない事情により  
中止・延期または内容が変更となる場合があります。  
各団体のホームページ等で、必ず事前にご確認をお願いいたします。

## 美しい多摩川フォーラム

### ■ 第13回多摩川子ども環境シンポジウム WEB 開催



(YouTube 動画は12月7日～当フォーラム  
公式ホームページより閲覧可能)

### ■ お問い合わせ先

美しい多摩川フォーラム事務局（青梅信用金庫 地域貢献部内）  
担当：及川 / 木村 / 鈴木 TEL 0428-24-5632 FAX 0428-24-4650  
E-mail forum@tama-river.jp URL <https://www.tamagawaforum.org/>

## 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

### ■ 早春のバードウォッチング ～多摩川河川敷（最寄駅：二子玉川駅）

◆ 2月20日（土） 午前9時30分～11時 ※要申込

### ■ 早春のみつ池体験教室～成城みつ池緑地

◆ 3月27日（土） 午前10時～正午 ※要申込

### ■ 世田谷トラストまちづくりビジターセンター ～世田谷区成城4-29-1（野川沿い）

#### \* 改修工事にともなう臨時休館のお知らせ

空調設備等の改修工事にともない、臨時休館しております。  
休館中のお問合せは、財団事務所へお願いいたします。

**休館：3月上旬（予定）まで**

※再開の日程は、決まり次第、財団ホームページ等でお知らせします。

### ■ 申込・お問い合わせ先

（一財）世田谷トラストまちづくり トラストみどり課  
TEL 03-6379-1624 FAX 03-6379-4233  
〒156-0043 世田谷区松原6-3-5 財団HP <https://www.setagayatm.or.jp/>



## むさしの化石塾 多摩川で化石から学ぶ環境学習です。

### 「むさしの化石塾」ではどんなことをするのか？

地域市民を対象に、多摩川で豊富に産出する化石から学ぶ環境学習を行っています。  
 むさしの化石塾は、化石を教材にした調べ学習を行う生涯学習教室です。  
 発見した化石の調べ学習を通して、学術研究を行う場合があります。  
 学会発表や論文記載、発見化石の博物館への貸与や寄贈も行っています。  
 是非お気軽にお問い合わせください。

### 多摩川の化石について

多摩川は第四紀学の材料の宝庫です。  
 その理由は多摩川の川底では、削られるたびに第四紀層の地層の中から次々と化石が出現するからです。  
 陸に住む化石では、アケボノゾウ（動物化石）やメタセコイア（植物化石）などが見つかります。  
 海の古生物では海生哺乳類や貝化石が見つかります。  
 過去に生きていた古生物の証が流失する前に、未然に採取して教材として生かすことを目的としています。

### むさしの化石塾「化石教室」＝室内調べ学習会のお知らせ

今年度の調べ学習教材：静岡県掛川層群大日層動物化石群の母岩ピッキング作業  
 200 万年前の暖流系貝化石、甲殻類、耳石を見つけよう！  
 下半期は、静岡産の古生物をターゲットに形態観察・謎解きを行います。

12月 12月13日(日) 14-16時 会場：むさしの化石塾  
 1月 1月10日(日) 14-16時 会場：むさしの化石塾  
 2月 2月14日(日) 14-16時 会場：むさしの化石塾  
 3月 3月14日(日) 14-16時 会場：むさしの化石塾

\*\*\*\*\*

### 参加希望連絡先：

開催日1週間前までメールで、[Email:mkj@sweet.ocn.ne.jp](mailto:mkj@sweet.ocn.ne.jp)宛  
 ご参加者の連絡先、氏名、年齢、性別、希望などご記入の上、お申し込み願います。

※参加費負担あり(教材込み)

■化石採集会(オプション)不定期開催(お楽しみに)

■活動や研究の一端を「むさしの化石塾」ツイッターで  
 つぶやいています。

[https://twitter.com/musasino\\_fossil](https://twitter.com/musasino_fossil)

### ■今後の予定

むさしの化石塾の研究成果の一部は、化石標本展示として、昭島市の教育福祉総合センター「アキシマエンス」郷土資料室内で化石の展示をご覧いただけます。

★むさしの化石塾に興味のある方は、

氏名・住所・年齢・連絡先・質問事項など参加希望等の理由を明記の上、郵送にてお願いします。

### ■お問い合わせ先

GeoWonder 企画 むさしの化石塾

〒208-0003 東京都武蔵村山市中央 3-20-7 代表 福嶋 徹 042-567-1095 (FAX 同)



## NPO 法人 砧・多摩川あそび村

子どもたちに豊かな自然体験と安心できる居場所を

### ■「きぬたまあそび村」

広い空の下、多摩川の風・水・火・土を肌で感じてのびのび遊べる自然体験遊び場です。「多摩川水系河川整備計画」をきっかけに、1999年から地域で遊び場づくりを始め、現在は世田谷区の委託事業として運営しています。プレーワーカーと呼ばれる遊び場スタッフが常駐し、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、子どもたちの自然遊び支援と原っぱの維持管理をしています。

日 時：毎週4日 月・水・金・土

10時30分～16時30分 ※雨天・荒天中止

場 所：多摩川河川敷二子緑地せたがや水辺の楽校はらっぱ

アクセス：東急田園都市線・大井町線「二子玉川駅」徒歩20分

東急バス 砧本村行き

バス停：都市大グラウンド前下車1分

成城学園前駅行き バス停：砧南中学校前下車4分



広々した原っぱでのびのび遊ぶ

### ■原っぱ遊び場を元気に

昨年の台風19号で被災したせたがや水辺の楽校原っぱの復旧作業が、コロナの影響で中断していましたが、秋から再開することができました。地域の有志で協力し合いながら、ビオトープとツリーハウスの再建をきぬたまあそび村の活動日に少しずつ手作りで進めています。どなたでも参加できますので、大切な多摩川の地域資源づくりにご支援とご協力をお願いします。



壊れて修理中のツリーハウス



子どもたちと多摩川源流へ間伐に



ビオトープ水路の修理

### ★冬のプログラム

◎多摩川のクズのつるで  
クリスマスリースづくり

◎キラキラビー玉づくり

◎クギナイフづくり

材料費などは有料となります。

詳細はブログ、Facebook、Instagramなどでご確認下さい。



### ■お問い合わせ先

NPO 法人 砧・多摩川あそび村

〒157-0077 世田谷区鎌田 1-19-1-101 きぬたまの家

TEL 03-6447-9931

MAIL info@kinutama.com HP <https://kinutama.com/>

ブログ <http://asobimura.exblog.jp/>



**きぬたまあそび村**

## 鎌田南睦会 第32回「どんど焼き」

どんど焼きとは小正月の火祭りです。お正月に使った門松やしめ縄、お守り、破魔矢、祈願成就したダルマなどをお焚き上げし、1年の無病息災を願う伝統行事です。

鎌田南睦会主催で行われる「どんど焼き」は、多摩川に隣接する世田谷区内にある当町会の恒例行事となっています。始まりは1989年。お正月飾りがゴミとして捨てられている状況を見て、なんとかしたいという町会役員の思いがきっかけでした。鎌田南睦会管内には神社がありません。ですが、目の前には広々とした多摩川があり、その立地を生かそうということから町会行事として行うようになりました。地元・喜多見の竹や多摩川の茅を用いて櫓を設営し、地元消防団の協力など町会関係者が一丸となって行っています。

今年のどんど焼きは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して行います。行事が始まった当初の目的を優先し、お正月飾りのお焚き上げのみとさせていただきます。毎年楽しみにしておられる方も多いと思いますが、餅焼きや甘酒の振る舞いなどの提供は一切行いません。密を避けるため、例年のように大勢の方が集まる状況を生まないよう、ご理解とご協力をお願い致します。

日 時：令和3年1月17日（日）

場 所：多摩川河川敷二子緑地運動場  
ピクニック広場北側

式典開始：10：00

やぐら点火：10：30

主催：鎌田南睦会

ホームページ：<http://kamataminami.sakura.ne.jp>

メールアドレス：[info@kamataminami.sakura.ne.jp](mailto:info@kamataminami.sakura.ne.jp)



## NPO 法人多摩川エコミュージアム

### ■ニヶ領せせらぎ館「体験教室」(子どもゆめ基金助成活動)

日時内容 小学生以上が対象となります。下記は12月の教室です。参加費必要です。

12月5日(土)(バルーンアート教室) 12月6日(日)(楽しい竹細工)

12月12日(土)(しめ縄づくり)

12月19日(土)ペンギン君を歩かせよう!(楽しいプログラミング)

場 所 JR南武線/小田急線登戸駅下車徒歩8分 ニヶ領せせらぎ館2階



バルーンアート



竹細工



プログラミング

### ■歌とリトミック教室(多摩川幼児サロン なかよしランド)

日 時 2021年1月12日(火)、2月2日(火)、  
3月2日(火) 10時30分~

場 所 JR南武線/小田急線登戸駅下車徒歩8分  
ニヶ領せせらぎ館2階

内 容 音楽に合わせてリズムをたいたり。  
(コロナウイルス感染防止として7組限定)



落ち葉でお絵かき

### ■第16回 多摩川桜のコンサート

日 時 2021年3月27日(土) 11:00~15:00 無料

場 所 JR南武線/小田急線登戸駅下車徒歩8分  
ニヶ領せせらぎ館前広場

内 容 ニヶ領用水沿いの桜の前でのコンサート  
和太鼓・合唱・声楽など

主 催 川崎市、NPO 法人多摩川エコミュージアム



和太鼓

### ■お問い合わせ先

ニヶ領せせらぎ館(にかりょうせせらぎかん)

【JR南武線/小田急線登戸駅下車徒歩8分】

TEL/FAX: 044-900-8386 URL: <http://www.seseragikan.com/>

住 所: 神奈川県川崎市多摩区宿河原1-5-1

開館時間: 10:00~16:00 5月~8月 土日祝は9:00~16:00

休 館 日: 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)及び第一・第三水曜日



## せたがや水辺の楽校

### ■あそびの日（第1日曜日 10時～12時）

▶集合受付場所：せたがや水辺の楽校原っぱ

2020年12月6日（日）

2021年 2月7日（日）・3月7日（日）

▶冬の生きものの観察、バードウォッチングなどを行います。

プログラム内容は、ホームページにてご確認ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子どもたちを集めての生きものの解説は行わないことがあります。

虫網や、双眼鏡など、観察に必要な道具を貸出します。寒い時は、「みんなの火」を焚いて暖をとります。



探鳥会の様子



河川敷探検（2020年3月 台風19号のあとの河川敷を探検しました）



「みんなの火」を焚いて暖をとります

### ■2020年度 多摩川子どもシンポジウム in せたがや

2021年2月21日（日）10時～13時

▶開催場所：東京都市大学二子玉川夢キャンパス（予定）

2020年度に子どもたちが体験した水辺での活動、研究した生きもののことなどの発表を行う会です。

2015年から毎年2月に開催しています。今年は、新型コロナウイルスの感染状況が心配ですが、開催の方向で考えています。募集については、ホームページなどでお知らせします。



2020年2月開催「2019年度多摩川子どもシンポジウム in せたがや」に参加してくれたみなさん

### ■お問い合わせ先

NPO 法人せたがや水辺デザインネットワーク

Mail [info@mizubedesign.org](mailto:info@mizubedesign.org)

TEL 080-3007-5413（村上）

HP <https://mizubedesign.org>

FB <https://www.facebook.com/mizubedesign/>

Instagram始めました [setagaya\\_mizube](https://www.instagram.com/setagaya_mizube)



～～多摩川と崖線の森の街で 一人ひとりが大切にされる毎日を～～

## とどろき水辺の楽校

### ■多摩川たこ揚げ大会

日 時：2021年1月10日（日）10時～12時

集合場所：いつもの河川敷

参加人数：30名（但し引率は1名様までとさせていただきます）

申込方法：FAX またはメール（申し込み先着順 締め切り）

参加費：200円（保険代等）

凧材料はお年玉プレゼント



### ■川崎市域水辺の楽校シンポジウム

日 時：2月14日（日）13時～16時

会 場：エポック中原7階（川崎市総合福祉センター）

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5

電話：044-722-0185（代表）

参加人数：40名（申し込み先着順）

申込方法：FAX またはメール

参加費：無 料

基調講演：お天気お姉さんの天気と防災（仮題）

（気象ネットワーク）

多摩川ワークショップ

雲の図鑑・多摩川の草花押し花しおり

クルミのろうそくづくりなど



### ■お問い合わせ先

NPO 法人 とどろき水辺の楽校

電話・FAX 044-201-1493

MAIL [info@todoroki.org](mailto:info@todoroki.org) <http://www.todoroki.org>

理事・事務局 鈴木 真智子（携帯 090-5814-9604）

〒212-0004 川崎区幸区小向西町三丁目 64

## みずとみどり研究会

### ■第18回身近な水環境の全国一斉調査のお知らせ

日 時 2021年6月6日(日) ※世界環境デー(毎年6月5日)

測定項目 気温、水温、COD、その他(任意)

測定方法 取扱説明書にもとづき、調査キットで測定  
(参加申込者に2020年4月末～5月頃に配布予定)

参加申込と締切り 同封の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、**下記の事務局**

**(みずとみどり研究会) に、2021年3月10日(水)までに必ず**ご送付下さい。

なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

申込受付 参加申込された団体はホームページ等で公表させていただきます。

### ■申込み・お問合せ先

事務局 全国水環境マップ実行委員会

みずとみどり研究会気付

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

TEL/FAX 042-327-3169 E-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp

URL <http://www.japan-mizumap.org>

### 事務局より

今号に掲載した、さまざまな方からの原稿を通して読みますと、「水の流れ」を通じて全てが一つにつながっていることをあらためて認識し、たいへん神秘的な思いにとらわれます。一方、同じ「流れ」でも、感染症の流行だけは頂けません。一日も早い終息を祈るのみです。読者の皆様、どうぞご自愛いただき、良いお年をお迎えください。(Z)

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

第12回 社会貢献環境学術賞の受賞者は、井田 齊 様です。

改めまして、心よりお祝い申し上げます。

巻頭言にご執筆をいただきましたので、是非ご高覧下さい。(M)

● 発行日 2020年12月1日  
● 編集兼発行 公益財団法人 東急財団 環境部  
〒150-8511  
東京都渋谷区南平台町5番6号  
TEL 03-3477-6301  
公式ウェブサイト：<https://foundation.tokyu.co.jp/>

